

会 議 録

会議の名称	第 10 回（令和 6 年度第 2 回） 飯塚市協働のまちづくり推進委員会
開催日時	令和 7 年 3 月 31 日（月） 10：00～11：30
開催場所	飯塚市役所 本庁舎 1 階 多目的ホール
出席委員	貞清委員長、白瀧副委員長、永末委員、大塚委員、田中委員、吉田委員、小林委員、岡松委員、本川委員、竹原委員、矢部委員
欠席委員	宮嶋委員、松田委員
事務局職員	【市民協働部】 小川部長、内田次長 【まちづくり推進課】 森山課長補佐 【市民活動支援課】 橋本課長、相川係長、安藤
会議内容	1 市民協働部長挨拶（市民協働部次長挨拶） 2 委員長挨拶 3 議題 議題（１）地域活動について 「みんなのまちづくりフェスタ 2025」について事務局による説明の後、質問や意見を委員に求める。 【主な意見（感想）】 ・昨年度に比べて内容が充実していた。中学生が発表するということのでその効果も非常に大きかったと感じた。 ・中学生が関わったことで、中学生がこれからも参加したいという声があがり、今後の地域の活動に繋がるものとなった。 ・フェスタを開催するにあたり、各まち協の実務者と行政が一緒になって毎月会議を重ねていった。その成果もあり、良いものができたと感じている。 ・次年度以降のフェスタの方向性についてお尋ねしたい。 ⇒各地区での活動を知って、今後の活動に繋げていけることがフェスタのメリットであると感じている。次年度にむけての課題はありますが、また新たに実務者を選出して頂き、良いものを作って行きたいと考えている。 議題（２）市民活動について 「飯塚市協働のまちづくり応援補助金事業」について事務局による説明の後、質問や意見を委員に求める。 【主な意見（感想）】 ・補助金の活用が 2 年目となり、1 年目よりもパワーアップして、地域

会議内容	の団体や施設、事業者との繋がりが深まった。今後「かいたマルシェ」を地域に根付かせていきたいと感じている。 ・(委員からチャレンジing 事業実施委員に質問) 事業を最初に、市の補助金を活用しようと思って、最初に行政に相談して「やりやすかったこと」「やりにくいこと」はなかったか。今後チャレンジしようとする人たちに向けて何かあれば教えてほしい。 ⇒(委員) この事業は、市公式LINEで見つけた。最初、市民活動支援課に「私達でできますか?」と伺い、何度も何度も相談に乗っていただき、事業を実施できた。丁寧に対応していただいたお陰で1年目は終わり、2年目も「これならできそう」ということで申請した。「かいたマルシェ」の広報には必ず「チャレンジing 事業」と記載することで、「これって何ですか?」と尋ねられる方がいて「市役所に行ったら是非相談してください」と伝えています。この2年間、行政に色々と助言いただいた。そういった関係性があったから実現できた。本当にありがたかったです。ありがとうございました。 ⇒(質問委員) 行政とのいい関係が作れているんだということを知っていて、私達も一緒にやっていきたいという気持ちになれて、よかったなと思います。 ・3年間という期間限定の中で、自立していく支援も必要になるとも感じる。 議題(3) その他 ▼「人が集まる講座とチラシの作り方」講座について事務局より説明 【主な意見(感想)】 ・坂田さんの講座は人気があり、なかなか参加できない。講師の著書を読み、前から興味を持っていた。参加してよかった。 ・社会福祉協議会から若手職員が参加した。社協だよりの見直しや、文面の作り方がとても勉強になったと言っていた。このような講座の継続もお願いしたい。 ▼「地域の困りごと解決に向けた飯塚市・郵便局等の懇談会」について事務局より説明 【主な意見(感想)】 ・(懇談会に参加した委員より) 自分の地区では、令和7年度より地域包括支援センターに来ていただいて、自治会単位ではなく校区単位で事業を実施してもらおう。そうすることで自治会の未加入者でも参加できることになる。 一番言いたいのは、「福祉のまちいいづか」よりも「健康なまち」という視点で、もっと包括支援センターが携わっていただくとありが
------	---

	たい。 ・ 嘉麻の里 夢・未来を考える会より 「第 31 回記念 勝ち歩き大会」のお知らせ
会議資料	第 10 回（令和 6 年度第 2 回）推進委員会 次第 資料 1～資料 3 みんなのまちづくりフェスタ 2025 資料 4 協働のまちづくり応援補助金 令和 5 年度採択（冊子） 資料 5 協働のまちづくり応援補助金 令和 6 年度採択事業概要
公開・非公開の別	1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者 0 人)
その他	